

カーボンニュートラル実現のための パワーエレクトロニクス技術



2025
7/10 (木) **参加無料** 受付 13:30~
14:00~16:45

カーボンニュートラル社会の実現に向け、電動化技術の核となる高効率・小型化に貢献するパワーエレクトロニクス技術。今回はその中でもモータに関する研究開発や、応用事例、将来展望等について講演を行います。また、静岡理工科大学が2026年度からの実施を予定する学部学科再編計画の概要や狙い等についてもご紹介します。

対象

企業、一般の方、知見を高めたい方でしたらどなたでも構いません。業種は問いません。

定員

30名様
(先着順)

会場

静岡理工科大学グループ
静岡駅前キャンパス 4Fホール
(静岡市葵区御幸町20番地 M20ビル)



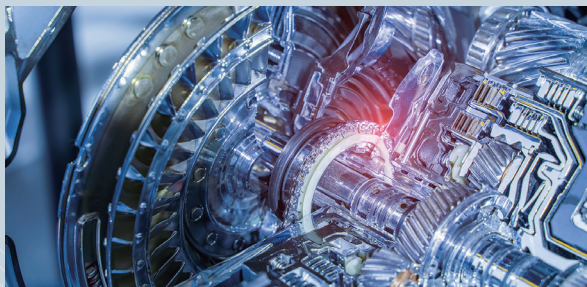
7/10(木) 14:00~16:45 受付13:30~ 参加無料 ※講演は、すべて出席でなくいずれかの参加でも構いません。途中退席されても構いません。

カーボンニュートラル実現のためのパワーエレクトロニクス技術

講演
1

モータ制御技術の変遷と現状

14:05~15:05



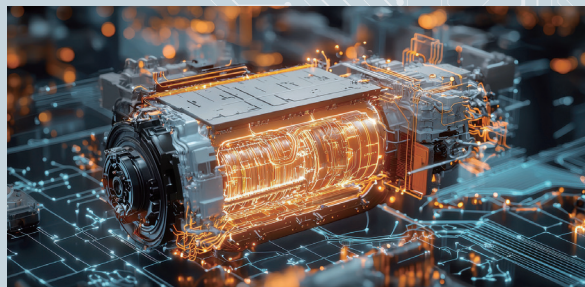
モータは1800年代に実用化されて以降、エンジン等に比べ高効率なエネルギー変換器として、現在まで様々な機器等で利用されている。モータの高性能化には、パワーエレクトロニクス技術の進化が密接に関わっている。また、近年のモータ駆動システムでは、モータの高効率・小型化を実現するために電源電圧が高電圧化しておりその対策も重要となっている。今回は、モータおよびその制御技術の変遷と現状について紹介する。

講師 静岡理科大学 理工学部 電気電子工学科 教授
服部 知美 Satomi Hattori

講演
2

ドライブ回路一体形機電一体 モータシステムの研究開発動向

15:15~16:15



様々な機器が電動化される昨今においては、モータと駆動用インバータを含んだシステムレベルの効率化と、機能統合による小型化が重要な課題となっている。その技術のひとつとして「ドライブ回路とモータを機能的に統合したモータシステム」が提案されており、現在、国内外で実用化に向けた研究が行われている。今回はその技術の概要と現状、今後の展望について紹介する。

講師 静岡理科大学 理工学部 電気電子工学科 准教授
青山 真大 Masahiro Aoyama

静岡理科大学 2026 学部学科再編について

16:15~16:40

静岡理科大学 木村 雅和学長

お申込み方法

右記QRからお申込みください▶

申込締切

7/9(水)まで

※定員(30名様)になり次第締切となります。
※ご不明な点は下記お問い合わせ内メールアドレスまでご連絡ください。

専用申込みQR



会場

静岡理科大学グループ静岡駅前キャンパス 4F ホール

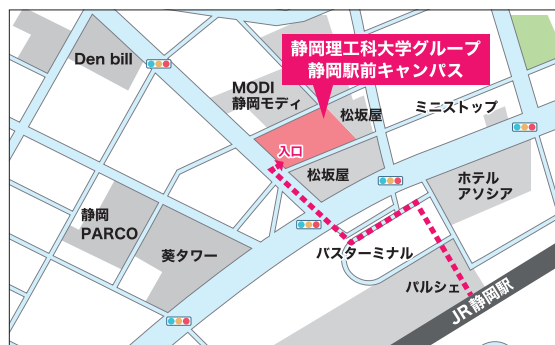
〒420-0857 静岡市葵区御幸町20番地 M20ビル

アクセス

- JR 静岡駅北口より ▶ 徒歩3分(地下道直結)
- 静岡鉄道新静岡けやき通り口より ▶ 徒歩4分

※駐輪場・駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

1F正面エントランスよりお入りください。
(地下道からはP出口をご利用ください)



お問い合わせ

教育のチカラで静岡を元気に! 法人グループの教育資源を活かし、地域とともに「学び」と「交流」の場を育んでいます。

学校法人 静岡理科大学グループ SIST コラボスクエア [地域協働センター]

〒420-0857 静岡市葵区御幸町20番地 M20ビル 13F

tel 054-204-2499

mail houjin-collabo@sist.ac.jp

HP <https://sist-net.ac.jp/>